



獅子踊り引継ぎ式 11月30日(木)

獅子踊りの伝統が6年生から5年生と4年生に引き継がれました。6年生の代表から、後輩への期待とお師匠様への感謝の言葉がありました。5年生の代表からは「6年生から平小獅子踊りを引き継ぎ、そして思いを引き継ぎます。」と決意発表がありました。お師匠様からは「6年生から『まだまだやりたい!』と聞きました。一年は早いものです。6年生は大きくなったら、また獅子踊りに入ってください。」とお言葉をいただきました。

(6年生の代表のあいさつと5年生の代表の決意発表の全文は平野小学校HPに掲載されています。ご覧ください。)

～6年生の笛、踊り子、獅子の代表からの引継ぎのことば～

笛の代表から

獅子踊りでは笛のまとまりが大事です。心をひとつにして、いい音色を響かせてください。

踊り子の代表から

これからも伝統ある獅子踊りを大切に受け継いでください。

獅子の代表から

切れのいい、かっこいい踊りを披露できるように頑張ってください。



社会科見学 3年生 12月5日(火)

3年生が社会科見学で西置賜行政組合消防本部・防災センターと長井警察署に行ってきました。消防署では消防車や救急車を間近で見してきました。また、訓練の様子も見せていただきました。警察署ではパトカーに乗せていただきました。



授業参観 PTA研修会 学級懇談会 12月1日(金)

授業参観後にPTA研修会で小野卓也さんから親子のコミュニケーションについてお話をいただきました。小野さんは洞松寺住職であり、山形県家庭教育アドバイザーでもあります。具体的例をあげながら、子どもとコミュニケーションをとるコツを教えてくださいました。学級懇談会では「読書」と「食」についても話題にさせていただきました。4年生の学級懇談会では読書について「子どもがフィクションばかり読んでいる。」という悩みが出され、「4年生では好きな本を読むのいいのではないか。」というご意見がでました。普段、悩んだり、感じたりしていることを保護者同士で語り合えるととてもいい学級懇談会でした。

～小野卓也さんのお話から 親子コミュニケーションのコツ～

- 子どもとのコミュニケーションの前提は、心の余裕。
- コミュニケーションの基本は、傾聴。子どもが気づくまで待つ。それによって信頼関係ができる。
- ボードゲームはコミュニケーションに活用できる。「遊びは学び」
親子が一緒に楽しめる。ゲームで負けても「めげない」ことを身につけることができる。

心を育む給食週間 12月5日(火)

1,2年生は箸の持ち方を教えていただきました

栄養教諭の佐藤朋江先生と学校栄養士の高梨由里先生から「食」についてのお話を聴きました。1,2年生は食事のマナーについて、3,4年生は好き嫌いをせずにバランスよく食べることについて、5,6年生は成長期の必要な栄養素と食事の関係についてのお話を聴きました。お話を聞いての振り返りにはたくさんの「いつもおいしい給食をありがとうございます。」の文字がありました。



～6年生の振り返りから～

- 私は嫌いなものがあります。今も嫌いで食べられません。いつかは食べられるようになって、嫌いなものゼロにできるように頑張りたいです。今、成長期なのでご飯をたくさん食べて、健康な体をつくりたいです。
- 給食をつくっている人は成長や健康に必要な五大栄養素を考えてつくってくれています。だから 残さずに食べないといけないとわかりました。

おめでとうございます

読書まつり 読み聞かせ3回目のようすです。

人権啓発標語コンテスト

※敬称略

入選 青木 駿弥 6年生 「やめようよ」その一言が 救いの手
小笠原冬真 6年生 やさしさが 心と心の バトンパス



12月後半の予定

22日(金)終業式 23日(土)年末年始休業 1月8日まで